

頌栄

No. 104

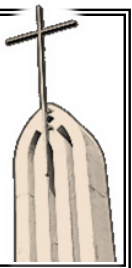
日本キリスト教団 頌栄教会

〒155-0031

世田谷区北沢 1-42-10

Tel 03-3467-3664

Fax 03-3467-8332



特別な待降節をいただいて

牧師 清弘 剛生

の特別なアドベントの期間、神に立ち帰り、神を礼拝し、日々、御言葉に聴き祈りつつ共に歩みましょう。

今年も待降節（アドベント）を迎えました。飾り布が受難節（レント）の時と同じ「紫」になりました。再び来られるキリストを待ち望む私たちに、恵みとして与えられている悔い改めの期間です。

とかを問われることになりました。私たちもまた、御言葉に立ち帰ることを神から呼びかけられながら、レントの時を過ごしました。そして、いつももまさる復活祭の恵みをいただいたのだと思います。

私はこの時、今年の春を思い起こします。教会に集まれなくなりしました。世界中の教会がそうになりました。そのようにして日曜日に教会に行くだけの「サンデークリスチャン」が成り立たなくなつた中で、世界中のキリスト者が、真に神と共に生きるとは、御言葉と共に生きるとはいかなることか、礼拝する神の民として共に生きるとはいかなること

集まれなくなつてちようど八ヶ月が過ぎました。今年のアドベントには、改めて神から悔い改めが呼び掛けられているのでしよう。例年通りなら十二月二十日がクリスマス礼拝にあたります。しかし、明らかに皆が集まることができないうその日、私たちはアドベント第四主日の礼拝を共にさげます。本来、待降節第四主日の飾り布は紫なのです。こ

そして、二十五日にクリスマスを迎えます。前夜も当日も、私たちは皆で集まることはできません。それぞれの場で祈りを合わせ、礼拝をささげることになるでしょう。その時、私たちは何を思うのでしょうか。いつものようにクリスマススを祝えないことを残念に思うのでしょうか。あるいは少しでもいつものクリスマス気分を味わおうと試みるのでしょうか。いいえ、このような時であるからこそ、集まらない私たち自身のことではなく、今年コロナのために長く苦しんできた多くの人々を覚えて、共に祈り、献げる、そのようなクリスマス礼拝をおさげしようではありませんか。